

大規模地震から身を守る マンション 防災講座

マンション(集合住宅)は、耐震性や耐火性に優れた建物です。一方で、震度6強以上の大規模地震が発生すると、ライフラインの停止など、予期せぬ被害に見舞われることがあります。震災を乗り越えるためには、マンションの住人全員で力を合わせて備えることが大切です。生命や財産を守るために、マンションの震災対策について考えてみましょう。



区役所防災担当
うかい
鶴岡

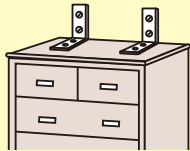
けがを しないための対策は？



医療機関にかかるのが大変な上、薬や医療用品も不足します。けがをしないために、次の対策をしましょう。

家具の転倒防止

家具が転倒しないように、固定しましょう。



ガラス飛散防止

フィルムの貼り付け
ガラスの破片から身を守ります。



懐中電灯の用意

暗がりを行くと、けがをする可能性が高まり、大変危険です。



お隣さんの 安否確認は した方がいいの？

他の住戸では自力での避難が困難だったり、家具の下敷きになり身動きが取れなかったりと、一刻を争う事態になっていることも想定されます。各住戸を回って安否確認をしましょう。



地域防災拠点訓練に参加しましょう

地域防災拠点は、避難生活を送る場所であり、情報と物資が集約される拠点でもあります。地域防災拠点から情報や物資を得ながら在宅避難をすることで、ストレスの少ない生活を送ることができます。毎年実施される地域防災拠点訓練に参加しましょう。

港北区地域防災拠点訓練

検索



ライフラインが 使えない場合の備えは？

マンションの電気・ガス・水道は、使用できなくなると考えておきましょう。備えのポイントは次の通りです。



上下水道の停止時はトイレの水を流さない

汚水が建物に逆流した事例もあります。下層階への漏水は、賠償責任が生じる場合があります。

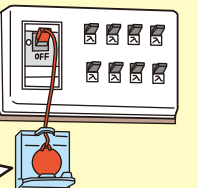
トイレバックを備蓄しましょう。



停電時はブレーカーを落とす

電源が入ったまま放置しておくと、停電復旧時に通電火災を引き起こす危険性があります。**感震ブレーカーを設置**すると効果的です。

感震ブレーカーは揺れを感知し、電気を遮断



ガスの供給停止に備える

安全確認ができるまで、長時間ガスの供給が停止されます。**カセットコンロなどを備蓄**しましょう。



ライフラインは、専門業者の点検後に使用しましょう。



エレベーターは 使えなくなる？

停電している間、エレベーターは動かず、復旧には時間がかかります。エレベーターが使用できない場合、水などの重い荷物を持って階段を上ることは困難です。**最低3日分の備蓄**をし、停電に備えましょう。また、エレベーターを使わない避難訓練をすることや、避難生活を考えましょう。

▶ 備蓄品の詳細は3ページで

区内の取り組み事例紹介

太尾小学校区 マンション防災協議会

どんな組織なの？

2017年、マンションの防災力向上を目的に設立されました。マンション防災に関する事例の共有のほか、地域行事の情報発信などをすることで、地域の中で顔の見える関係づくりを目指しています。

一戸建てとマンションの住民同士が、防災について連携して取り組んでいることが画期的です。



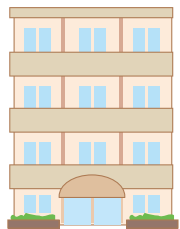
太尾小学校地域防災拠点本部
ふるさと太尾防災



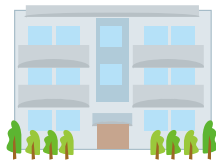
連携



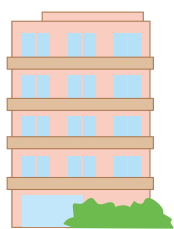
太尾小学校区マンション防災協議会



マンション住人が町内会に加入しているマンション



マンション自治会



町内会未加入マンション

どんなことをしているの？



活動の様子

情報共有

- 防災ツール
 - ・初期消火器具や簡易トイレをはじめとした防災備品や事例の紹介
- 在宅避難の対策
 - ・震災マニュアルの策定やマンション設備の老朽化対策
- 災害時の安否・在宅確認方法
 - ・声掛けや玄関ドアの表示
 - ・災害時要援護者の把握や入居者台帳の更新、個人情報保護方針の周知

地域とのつながり

- 地域防災拠点訓練の参加推進
- 災害時の各マンションの状況把握（地域防災拠点本部情報班と連携）
- SNSを活用した防災や地域行事の情報発信

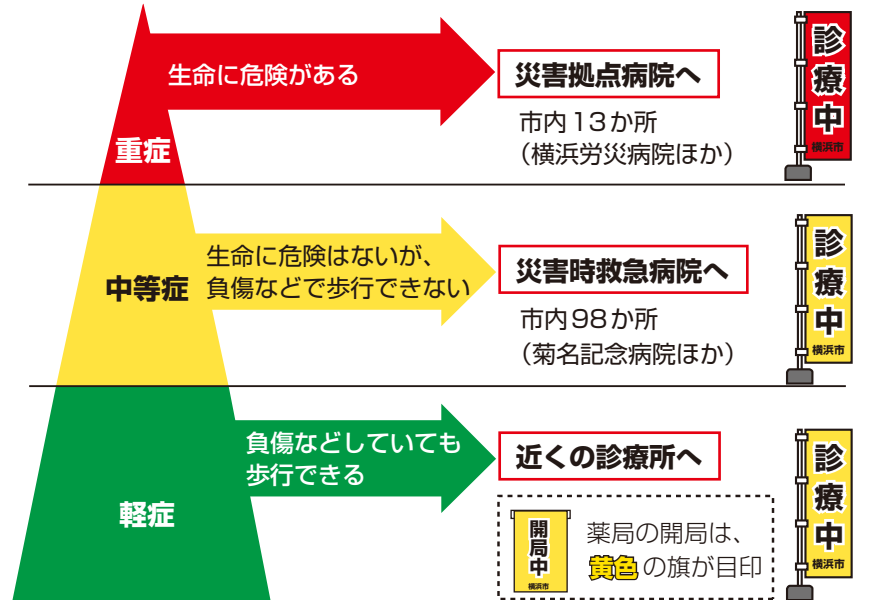
太尾小学校区マンション防災協議会

事務局長のコメント

地域防災拠点訓練に参加することで、地域の皆さんと関係性をつくり、地域全体で防災力の向上を図っています。マンションが無事で地域が被災した場合には、地域の一員として早期の復旧に貢献できるような協議会を目指しています。

災害時、けがや病気をした時のために

災害時には、医療機関は重症度に応じて、治療する役割を分担します。診療可能な医療機関は、のぼり旗が目印です。



医師の診療を必要としない極めて軽度なけが → 区民の自助・共助による応急手当て

災害時に行く近所の病院や薬局を知っておきましょう。

横浜市 災害時医療 検索

●問合せ 区役所事業企画担当 ☎ 540-2360 ☎ 540-2368

港北区防災情報アプリ

防災について集約された情報を閲覧できます。スマートフォンやタブレット端末からダウンロードできます。災害時には電波が届かない恐れがありますので、早めにダウンロードしましょう。



鶴見川、多摩川における洪水情報の「緊急速報メール／エリアメール」の配信

5月1日から、鶴見川と多摩川が氾濫する恐れがある場合などにおいて、国土交通省から洪水情報が「緊急速報メール／エリアメール」にて配信されます。国土交通省からのメールの後に、市役所からも避難勧告などに関する「緊急速報メール／エリアメール」を配信します。「自らの身は自らで守る」という考えの下、浸水が予想される区域の人は速やかな避難行動をお願いします。



配信対象区

・鶴見川…港北区、鶴見区、都筑区
・多摩川…鶴見区

避難勧告の発令区域

・多摩川と鶴見川水系の一部（洪水ハザードマップ上の浸水想定区域）

緊急速報メール／エリアメールとは

対象エリア内のスマートフォンと携帯電話宛てに、各事業者が一斉配信するサービスです。受信時には、ポップアップ表示や警告音などで通知します。

●問合せ 総務局緊急対策課 ☎ 671-2064 ☎ 641-1677

●問合せ 区役所防災担当 ☎ 540-2206 ☎ 540-2209